

2013 年度ドクター研究員研究活動実績報告書

ふりがな 氏名	かさい りえこ 嵩井 里恵子
(研究テーマ名) 慈善・救済活動からみた中世・近世初期におけるフランス都市社会 —パリを中心に—	
(研究活動実績) <p>○2010 年の国際学会での報告 « Les demandes des donateurs de l'hôpital Saint-Jacques-aux-Pèlerins à Paris aux XIVe et XVe siècles : une analyse sur la gestion des livres de comptes » が学会論文集 (E. Belmas et S. Nonnis-Vigilante (dir.), <i>Les relations médecin-malade des temps modernes à l'époque contemporaine</i>, Villeneuve d'Ascq, 2013, p.87-104.) に論文として掲載された。中世後期に経済的、モラル的に機能不全に陥っていたとされるパリの歓待施設が、そうした危機に柔軟に対応しえたことをパリのサン・ジャック巡礼施療院の会計史料分析 (14・15 世紀) から明らかにした内容で、上記研究テーマの嚆矢となった。</p> <p>○第 14 回関西比較中世都市研究会 (2013 年 7 月 26 日 於大阪市立大学) にて口頭発表 (報告題目: 「歓待施設からみた中世後期・近世初期におけるパリ社会」) を行った。パリの歓待施設の果たした社会的機能の全体像から、当該時期におけるパリ社会の特徴を明示した。目下、歓待施設の都市における制度的発展という文脈をふまえた考察を加え、論文発表すべく準備中である。</p> <p>○研究ゼミナール「Paris au Moyen Age (中世のパリ)」への参加 *2013-2014 年度のテーマ「Travail et travailleurs à Paris (XIIIe-XVIe s.). 2^e année (続 13 世紀から 16 世紀パリにおける仕事とその担い手.)」</p> <p>○2012 年に参加した学会「Classer, dire, compter. Discipline du chiffre et fabrique d'une norme comptable à la fin du Moyen Age. (於フランス国立文書館新館およびフランス会計検査院)」の参加報告記が『比較都市史研究』第 32 巻第 1 号 (p.58-59) に掲載された。</p>	